

＜特別版＞ISL Online 在宅勤務環境構築マニュアル (ASP ライセンス)

本マニュアルには、ISL Online を利用した在宅勤務環境の構築手順についての基本情報が記載されています。

■ISL Onlineとは

ISL Onlineは、中継サーバを介して遠隔地にある端末やサーバの画面を見て操作できるリモートコントロールツールです。

世界中に配置された中継サーバを独自の最新技術を駆使したグリッドネットワークで結び、SSL-AES256bit で暗号化したセキュアな環境でご利用いただけます。

また、ISL Onlineのサービスに使用している中継サーバは計画停電の範囲外にも存在し、また国内のサーバが使用出来ない場合においても海外のサーバに自動的に接続されますので、お客様がインターネットに接続可能な環境にあればISL Onlineも継続してご利用いただけます。



■＜特別版＞無料体験の利用条件

ISL Online ライセンス	無料体験期間	最大同時接続数
ASP ライセンス	60 日間(通常 15 日間)	2 本

※無料体験期間中に使用できる機能は正式ライセンスと全く同じです

■動作環境と通信環境(ASP ライセンス)

ISL Online ASP ライセンスは下記動作環境および通信環境に対応しております。

■動作環境

	対応 OS	マシンスペック
リモートコントロール端末 (ISL Light/AlwaysOn を動作させる端末)	Microsoft Windows XP (32bit)、Vista (32bit)、7 (32bit および 64bit)、Windows Server 2003 (32bit)、Server 2008 (32bit)、Server 2008 R2 (64bit)	左記 OS が動作することが条件となります

■通信環境

	通信速度	通信ポート
リモートコントロール端末	56Kbps 以上	外向きのポート 7615 / 443 / 80 のいずれか

2011 年 3 月
株式会社オーシャンブリッジ

目次

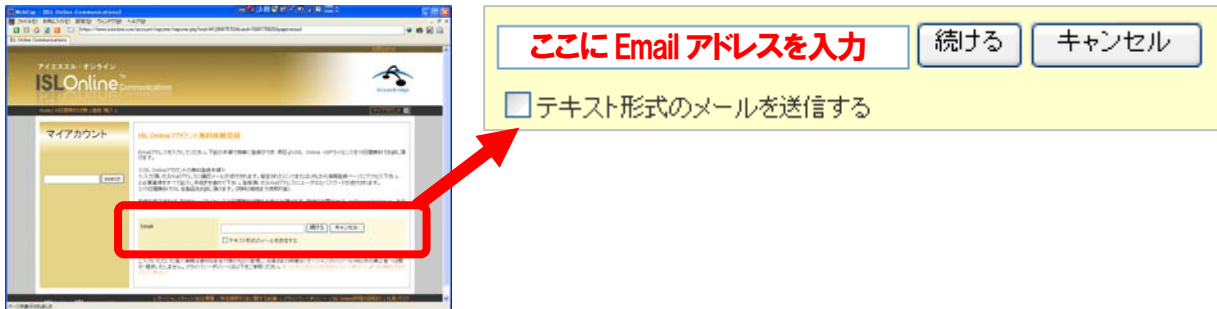
1. ISL Online アカウントの作成(ASP ライセンス無料体験の開始)	3
2. 在宅勤務環境の構築(ISL AlwaysOn セットアップ)手順	5
3. ISL AlwaysOn 接続手順	8
4. オフィス端末の操作	10
5. 対象端末への接続が行えない場合	11
6. ISL Online 機能一覧	14
最後に	15

1. ISL Online アカウントの作成(ASP ライセンス無料体験の開始)

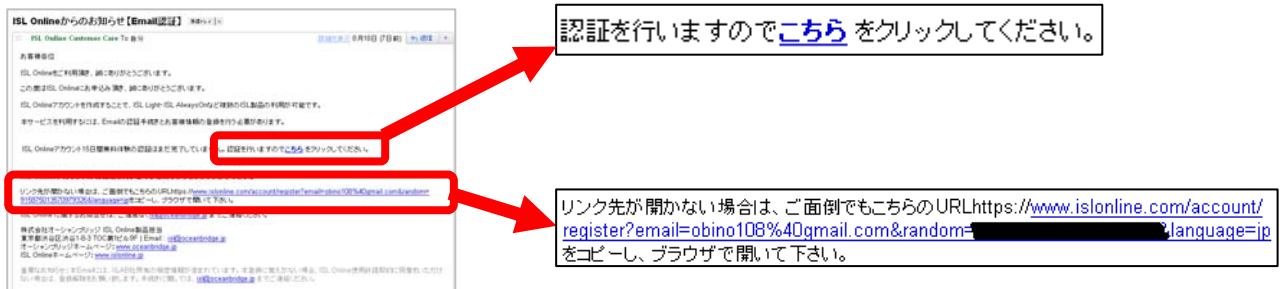
1. ISL Online ホームページ www.islonline.jp の「体験版お申し込み」ボタンをクリックします。



2. 登録 Email を入力し、「続ける」ボタンをクリックします。登録先に確認メールが送付されます。



3. メール内のリンクもしくは記載されている URL をクリックします。※リンクしない場合は下部の URL をブラウザで開きます。

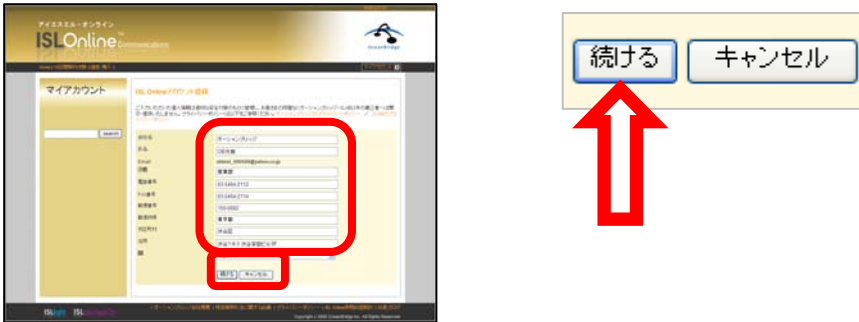


英語表記された場合の日本語表示方法

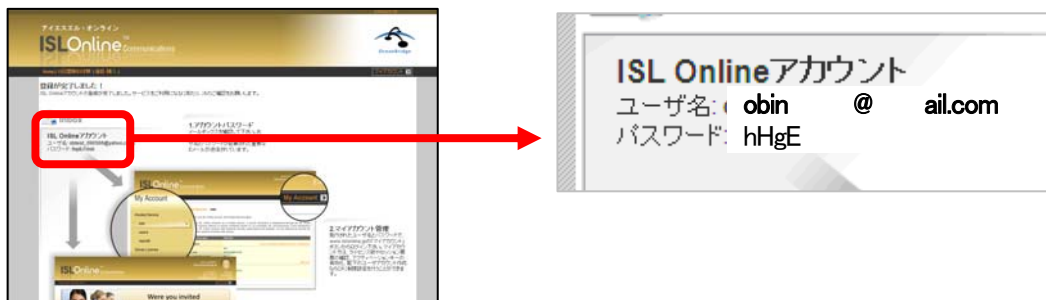
1. 英語ページ右上部の「English-Japan(Change)」をクリックします
2. メニューから「Japanese」と「Japan」を選択し、チェックボックスにチェックを入れて「Go」ボタンをクリックします



4. アカウント管理者情報をすべて記入し、国名欄は「Japan」を選択し、「続ける」ボタンをクリックします。



5. ISL Online アカウントが作成され、ユーザ名とパスワードが表示されます。



同じ内容が登録したメールアドレスにも送信されます。



※ 上記「ユーザ名」および「パスワード」は、アカウント管理者に対して発行されたものです。アカウント管理ページ「マイアカウント」へのログイン時、および ASP ライセンスの ISL Online の各機能の利用時に必要となります。

マイアカウント	<ul style="list-style-type: none"> ・正式ライセンスの有効化 ・ユーザ(オペレータ)アカウントの追加 ※担当者毎にアカウント取得が可能で、数に制限はありません ・アカウント情報/設定の変更 ・利用履歴の閲覧
ISL Online 機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ISL Light(ワンタイム接続機能) ・ISL AlwaysOn(常駐モジュール接続機能)

以上で、ISL Online アカウントの作成は完了です。

2. 在宅勤務環境の構築(ISL AlwaysOn セットアップ)手順



【在宅勤務環境の構築(ISL AlwaysOn セットアップ)】

※在宅勤務環境構築のため、常駐型接続モジュール (ISL AlwaysOn) をオフィス端末にインストールします。なお、ISL AlwaysOn をインストール可能な端末台数は無制限です (ASP 版のみ)。

1. オフィス端末にて ISL Online ホームページ(www.islonline.jp)を開き、「プロダクトログイン」ボタンをクリックします。



2. ユーザー名とパスワードを入力して「プロダクトログイン」ページにログインします。

ログイン情報

ユーザー名:

パスワード: [パスワードを忘れた場合](#)

ユーザー名とパスワードは大文字と小文字を区別して下さい。

3. ISL AlwaysOn をインストールしたコンピュータの一覧が表示されます。「このコンピュータの追加方法」にあるダウンロードボタンかリンクをクリックします

ISL AlwaysOn: リモートコンピュータの一覧

ISL AlwaysOnへようこそ。このアカウントに登録されたリモートコンピュータの一覧を表示します。

リモートコンピュータ					検索
コンピュータ一覧					
	詳細タグ	状況	アドレス	アクション	
	OCEANINOUEXP	オンライン	61.195.158.193	接続 編集 削除 履歴	
	OCEANINOUE	オフライン	61.195.158.193	編集 削除 履歴	

このコンピュータの追加方法
ここをクリックしてファイルを実行します

2台のコンピュータが追加されています
[検索する](#)

その他の方法を表示する

ユーザを招待する:

- 次のURL <https://www.islonline.net/join> に誘導する。
- 次のコード 155-274-271-437 を入力する
- 接続をクリックする

メールで招待する

4. セキュリティの警告が表示される場合、各ダイアログの「実行」および「実行する」ボタンをクリックします。

ファイルのダウンロード - セキュリティの警告

このファイルを実行または保存しますか?

名前: ISL AlwaysOn.exe
種類: アプリケーション, 274 KB
発信元: **alwayson.islonline.net**

インターネットのファイルは役に立ちますが、このファイルの種類はコンピューターに問題を起こす可能性があります。発信元が信頼できない場合は、このソフトウェアを実行したり保存したりしないでください。[危険性の説明](#)

このファイルを各端末で実行することでも、ISL AlwaysOn のインストールを行うことが可能です。各端末への配布後の手順は以下と同様です。

- セキュリティの警告

このソフトウェアを実行しますか?

名前: ISL AlwaysOn.exe
発信元: **XLAB D.O.O.**

追加オプションの表示(O)

インターネットのファイルは役に立ちますが、このファイルの種類はコンピューターに問題を起こす可能性があります。信頼する発信元のソフトウェアのみ、実行してください。[危険性の説明](#)

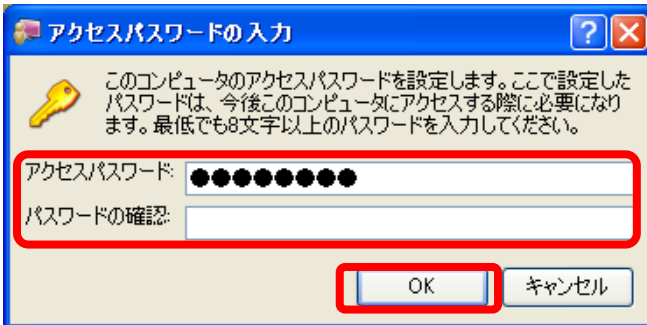
5. セットアップウィザードが開始されますので、「次へ」をクリックします。



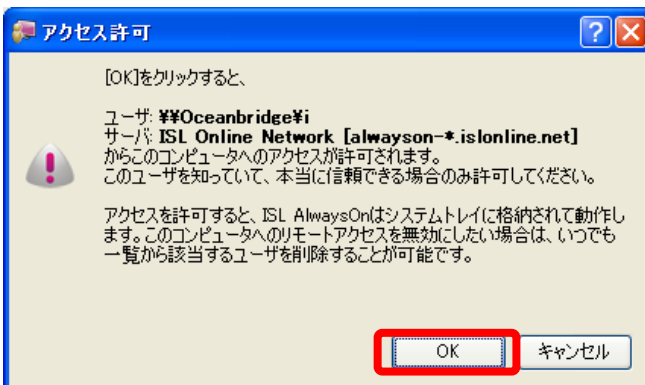
6. 「完了」ボタンをクリックします。アクセスパスワードの設定を完了している場合は、これでセットアップ終了となります。未設定の場合は次のステップに移ります



7. アクセスパスワードの設定を行います。入力が完了したら、「OK」ボタンをクリックします。



8. アクセス元からの接続を許可するために「OK」ボタンをクリックし、セットアップを完了します。



3. ISL AlwaysOn 接続手順

1. ISL AlwaysOn を使用するには、自宅端末にて「プロダクトログイン」ページにアクセスして下さい。ISL Online ホームページ(www.islonline.jp)の「プロダクトログイン」ボタンをクリックします。



2. ユーザ名とパスワードを入力して「プロダクトログイン」ページにログインします。

ログイン情報

ユーザ名:

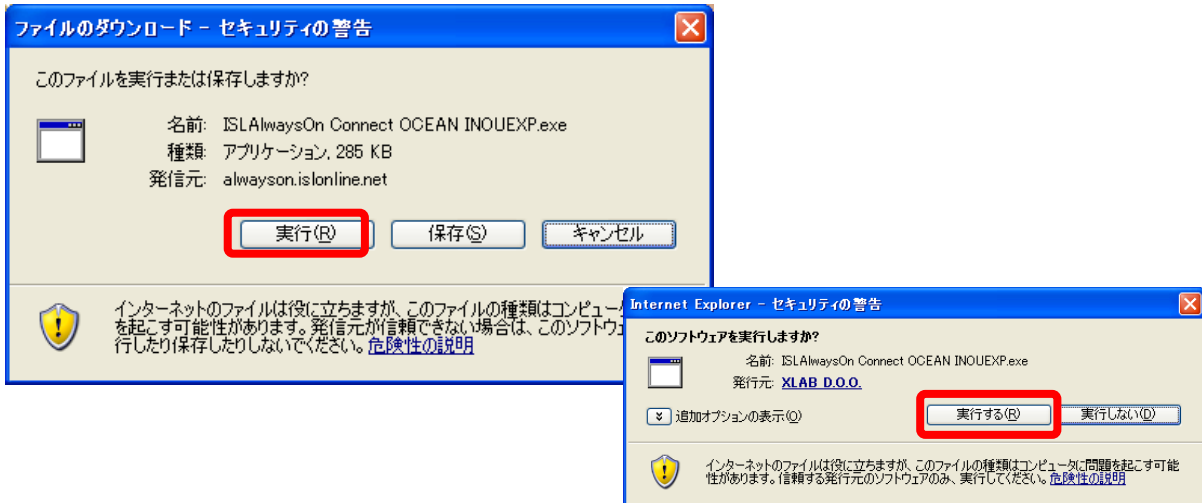
パスワード: [パスワードを忘れた場合](#)

ユーザ名とパスワードは大文字と小文字を区別して下さい。

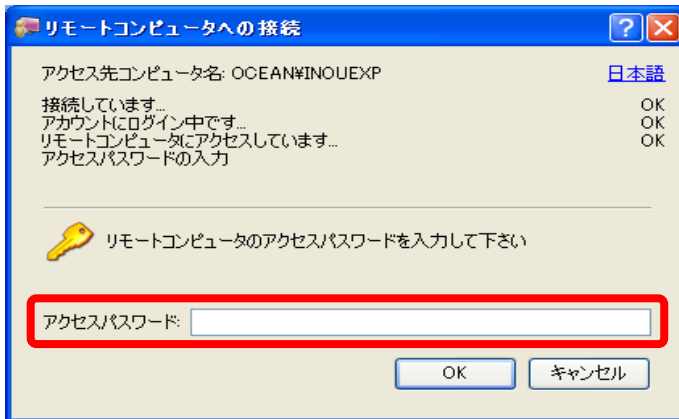
3. ISL AlwaysOn をインストールしたコンピュータの一覧が表示されます。接続可能な端末には「接続」と表示されます。「接続」リンクをクリックします。



4. セキュリティの警告が表示される場合、各ダイアログの「実行」および「実行する」ボタンをクリックします。

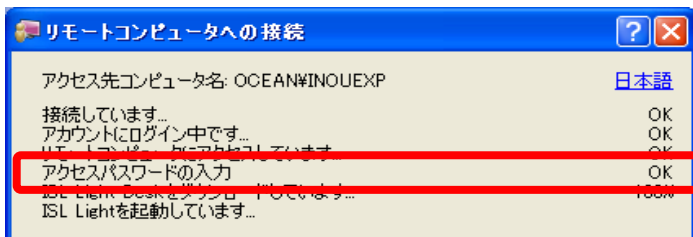


5. リモートコンピュータへの接続が開始されます。アクセスパスワードの入力ウィンドウが表示されます。アクセスパスワードを入力します。



6. アクセスパスワードの認証が「OK」と表示されると、画面共有ツールの ISL Light 実行ファイルが自動で起動し画面共有を開始します。

※ISL AlwaysOn ではセッション再接続機能がデフォルトで有効になります

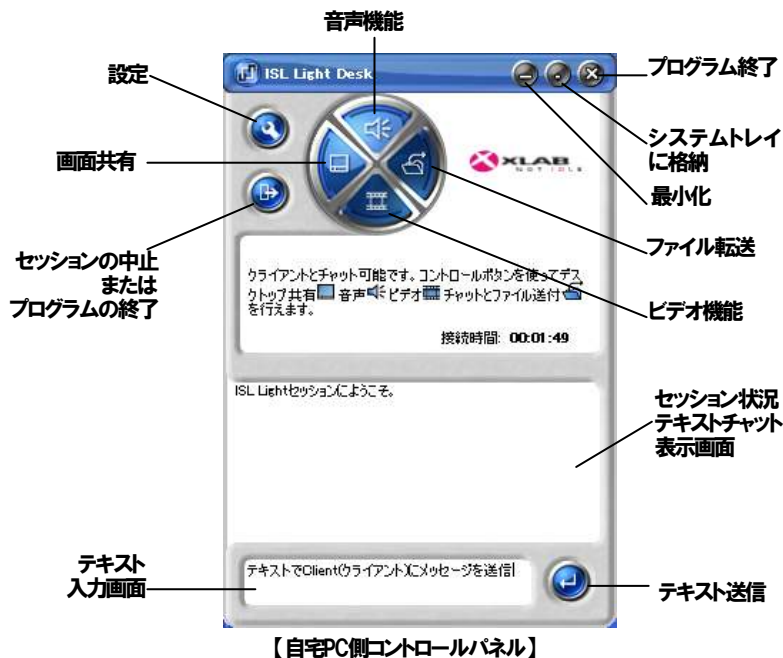


4. オフィス端末の操作

自宅端末には上記のように ISL View(ビューフ)が表示され、オフィス端末画面全体が表示されます。ビューフを通してオフィス端末を操作可能です。



【ISL View(ビューフ)】



【自宅PC側コントロールパネル】

【ワンポイント機能紹介】
■フォルダ単位のデータ送受信
 ISL Light では、フォルダ単位でのデータ送受信が可能です。手順は、コントロールパネル内に送りたいデータが格納されたフォルダをドラッグ & ドロップするだけです。
容量上限も無制限のため、大容量データの高速転送に大活躍です。

画面共有ツール ISL Light の詳細に関しては、下記マニュアルをご参照ください

- ISL Light 詳細マニュアル (<http://www.oceanbridge.jp/isl/light/manual/ISLLightManual.pdf>)

5. 対象端末への接続が行えない場合

ISL AlwaysOn を使用した接続が行えない場合には、以下の点についてご確認ください。

1. 使用しているプロバイダーが「ぷらら」の場合

ぷららのサービスである「ネットバリアベシック」の「パケットフィルタ」を「レベル 0(OFF)」に変更してください。パケットフィルタの設定を変更する方法は下記ぷららのホームページをご参照ください。

http://www.plala.or.jp/member/option_service/secuplus/nbb/manual_settei01.html

2. ご利用のセキュリティソフトが原因となっている場合

セキュリティソフトをオフにした状態で、ISL Online 製品による接続が行えるかどうか確認してください。オフにすることで接続できるようになった場合には、セキュリティソフトの制限によって ISL Online 製品が使用できない状態であった可能性が考えられますので、ISL Online 製品が使用する一時ファイルのフォルダをセキュリティソフトのスキャン対象フォルダから外してください。

ISL Online 製品が使用する一時ファイルのフォルダは以下の箇所にあります。

▼Windows XP, Windows Server 2003 の場合

C:\Documents and Settings\ユーザー名\Local Settings\Application Data\ISL Online Cache

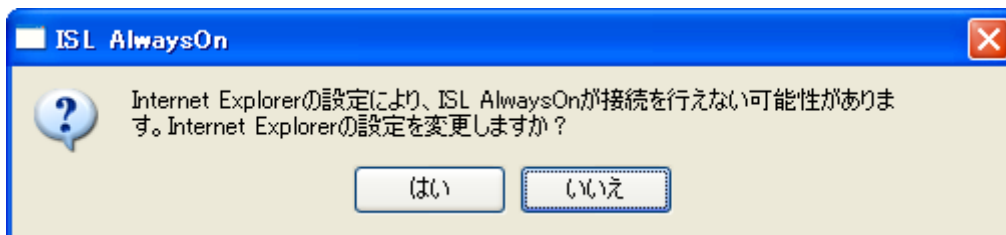
▼Windows Vista,7, Windows Server 2008 の場合

C:\Users\ユーザー名\AppData\Local\ISL Online Cache

※ユーザー名はお客様によって異なります

3. プロキシを使用した環境の場合

ISL AlwaysOn のインストール時に、「Internet Explorer の設定により、ISL AlwaysOn が接続を行えない可能性があります。Internet Explorer の設定を変更しますか？」という画面が表示されますので、「はい」を選択して、システムアカウントのプロキシ設定を行う必要があります。この設定を行わなかった場合には、プロダクトログインページに「接続」ボタンが表示されない場合があります。



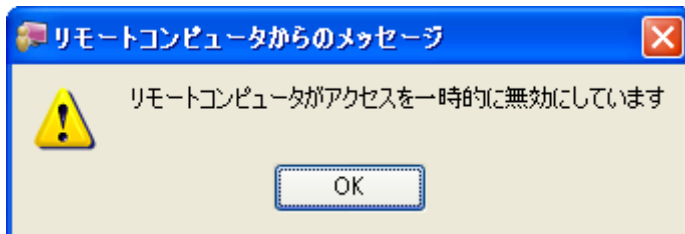
インストール時に「いいえ」を選択された場合には、ISL AlwaysOn の再インストールを行い、システムアカウントのプロキシ設定を行ってください。

また、システムアカウント上のプロキシ設定は、以下の方法でも設定を行うことが可能です。

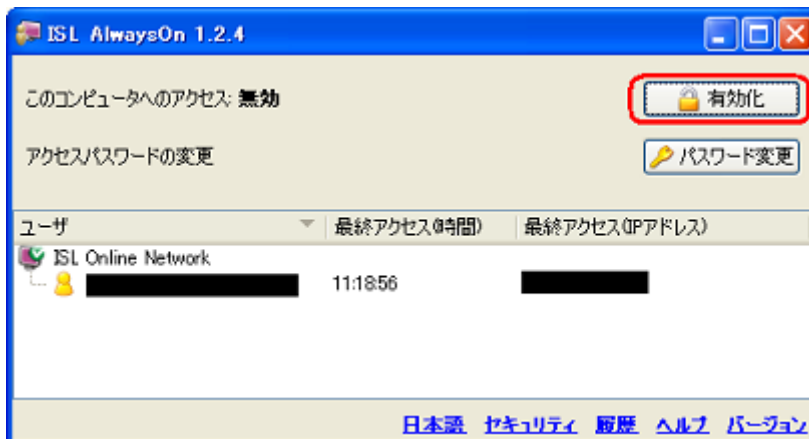
1. 端末の管理者権限を持つアカウントを使用してログインします
2. 下記の URL にアクセスして接続テストプログラムを実行します
▼接続テストプログラム
http://www.islonline.net/download/ConnectionTester
3. [設定]を選択して設定ダイアログを開き、[コネクションテスターをシステムアカウントで実行します]という記述右側の「実行」をクリックします(プログラムが再起動しますので少しお待ちください)
4. 接続テストプログラムが管理者モードに変更されるので、[設定]をクリックし、[Internet Explorer の接続設定ダイアログを開く]の記述右側の[開く]ボタンをクリックします
5. Internet Explorer の[接続]タブが開くので、[LAN の設定]ボタンをクリックして設定ダイアログを開く
6. [LAN の設定]ボタンをクリックして設定を行う際は通常のアカウントで使用しているプロキシ設定の内容を入力してください
7. ダイアログが開いたら、通常のアカウントで使用しているプロキシの設定内容を入力します

4.以下のメッセージが表示される場合

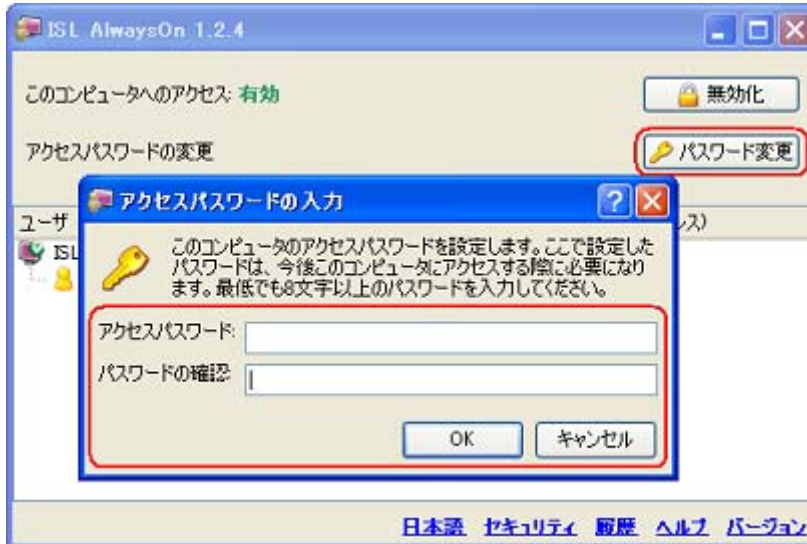
「リモートコンピュータがアクセスを一時的に無効にしています」



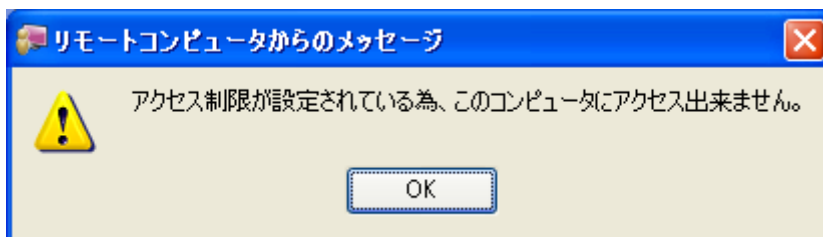
ISL AlwaysOn のメインウィンドウが「無効」状態になっている場合には、「有効化」ボタンをクリックしてください。



また、このメッセージはISL AlwaysOnのアクセスパスワードの設定が行われていない場合にも表示されますので、アクセスパスワードの設定を行っていない場合には、ISL AlwaysOn のメインウィンドウからアクセスパスワードの設定を行ってください。



「アクセス制限が設定されている為、このコンピュータにアクセス出来ません。」



このメッセージは ISL AlwaysOn のアクセス制限機能によってアクセスを制限された端末上で表示されますので、ISL AlwaysOn のメインウィンドウの「パスワード変更」からアクセスパスワードの設定を行ってください。

6. ISL Online 機能一覧

基本機能(画面共有・遠隔操作等)	
デスクトップ画面共有	管理者・オペレータ端末から遠隔からユーザのデスクトップ画面を見ることができます。
キーボード&マウス操作	管理者・オペレータが遠隔からユーザ端末上でマウス操作やキーボード入力を行うことができます。
ドラッグ&ドロップによる双方向ファイル転送	ISL インターフェースにファイルやフォルダをドラッグ&ドロップすることで「ユーザ端末→管理者・オペレータ端末」、「管理者・オペレータ端末 →ユーザ端末」双方向の送受信が可能です。ファイル容量制限はありません。
Ctrl+Alt+Del の送信	ユーザ端末に対して、管理者・オペレータがリモートから Ctrl+Alt+Del の送信を行うことができます。
各種ショートカットキーの送信	Ctrl+Tab などのショートカットキーを管理者・オペレータがリモートからユーザ端末に対して実行できます。
ホワイトボード(書き込みツール)	管理者・オペレータがユーザ画面にペンツール等で書き込み(マーキング)することができます。
スクリーンショットの取得	ユーザ端末の画面キャプチャを管理者・オペレータ側で取得することが可能です。
ブラックスクリーン機能	ユーザ端末上の画面を非表示にすることが可能です。ユーザが Esc キーを入力することで一定時間後に解除されます。
画面拡大・縮小	モニターサイズに合わせて画面の拡大縮小が 1%単位で設定が可能です。
画面カラー数変更	低遅延接続用の 8 色から高画質まで、画面のカラー数を自動、及び 8 色、64 色、256 色、65536 色に変更が可能です。
遠隔プリント機能	相手端末のファイルを自分の端末に繋がったプリンタで印刷することが可能です。
ネットワーク機能	
セッション再接続	管理者・オペレータがユーザ端末上で再起動を行った後に、手動でリモートコントロール接続操作を再度行うことなく、自動で接続を保持することが可能です。
自動ポート設定	7615、443、80 のポートで利用可能なポートを自動的に検出することが可能です。
管理機能	
レコーディング機能	セッション内容を記録した動画データを任意の場所に保存することが可能です。
オペレータ ID 作成	管理者・オペレータ毎の ID を無制限に作成することが可能です。
セッション履歴	操作を行った管理者・オペレータの ID、管理者・オペレータ IP アドレス、ユーザ IP アドレス、接続時間、及び送受信を行ったファイル名のログを保持し、管理画面から閲覧が可能です。
オペレータアカウント単位での権限管理	アカウントごとにファイル転送やテキストチャットの使用を禁止する機能制限設定が可能です。
その他機能	
アプリケーション共有	ユーザが選択したアプリケーションだけを相手と共有することができます。
プレゼンテーション機能	管理者・オペレータの画面をユーザに見せることや操作させることができます。
テキストチャット	テキストチャットで画面共有開始前にテキストでのやりとりを行うことができます。
音声・ビデオチャット	ウェブカメラとヘッドセットを使用した音声通信・ビデオ通信が可能です。

ISL AlwaysOn 機能	
アクセスパスワードの設定	ISL AlwaysOn によって、接続する端末ごとにアクセスパスワードを割り当て、不正な遠隔操作が行われるリスクを抑制します。
ワンタイムパスワードの発行	アクセスパスワードとは別のワンタイムパスワードを発行することができます。
アクセス制限機能	アクセス可能な IP アドレス、MAC アドレスの端末ごとに設定することができます。
アクセス通知機能	該当の端末にアクセスがあった際、事前に設定したメールアドレスにアクセス通知を送信することが可能です。
自動レコーディング機能	接続が開始されると自動的に操作録画を開始する設定をすることができます。
自動ブラックスクリーン機能	接続が開始されると自動的に相手画面をブラックアウトさせる設定をすることができます。ただし、相手は ESC キーを押すことで、数秒後に本機能を解除できます。
アクセス履歴	ISL AlwaysOn がインストールされた端末上で過去のアクセス履歴を表示できます。

最後に

本マニュアル記載の情報のほかに、ISL Online では下記の機能およびサービスをご用意しております。サービスご希望の場合、および、その他ご不明点や購入に関するご質問がございましたら、下記連絡先までお気軽にご連絡ください。

- ISL Online 無料体験期間の延長
- 遠隔デモンストレーション

なお、ISL Light の詳細、各種資料、製品 FAQ については以下のページをご参照ください。
● ヘルプセンター (<http://www.islonline.jp/help/>)

同時セッション単位の価格体系、用途に合わせた接続形態を選択可能

リモートコントロール プラットフォーム



●製品や購入方法に関するお問い合わせ

株式会社オーシャンブリッジ 営業部

Email: isl@oceanbridge.jp

●製品に関する技術的なお問い合わせ

<http://www.islonline.jp/contact.html>

からお問い合わせください。

ISL Online は XLAB d.o.o. の商標です。その他の社名または商品名等は、各社の登録商標または商標です。